



2022年3月期 第1四半期決算短信(日本基準)(連結)

2021年7月29日

上場会社名 エムケー精工株式会社
 コード番号 5906 URL <https://www.mkseiko.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 丸山 将一
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理本部長 (氏名) 酒向 邦明
 四半期報告書提出予定日 2021年8月3日
 配当支払開始予定日
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

上場取引所 東
 TEL 026-272-0601

(百万円未満切捨て)

1. 2022年3月期第1四半期の連結業績(2021年3月21日～2021年6月20日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2022年3月期第1四半期	5,513	6.1	325	5.0	352	7.3	203	33.4
2021年3月期第1四半期	5,194	0.3	310	19.3	328	24.8	152	16.7

(注) 包括利益 2022年3月期第1四半期 302百万円 (1.9%) 2021年3月期第1四半期 296百万円 (148.2%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2022年3月期第1四半期	14.02	
2021年3月期第1四半期	10.51	

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2022年3月期第1四半期	25,734	12,136	47.2	834.69
2021年3月期	25,113	11,950	47.6	821.90

(参考) 自己資本 2022年3月期第1四半期 12,136百万円 2021年3月期 11,950百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2021年3月期		0.00		8.00	8.00
2022年3月期					
2022年3月期(予想)		0.00		8.00	8.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2022年3月期の連結業績予想(2021年3月21日～2022年3月20日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	12,500	4.1	600	26.0	600	30.8	350	29.7	24.07
通期	25,500	0.5	950	37.0	950	40.9	550	5.4	37.83

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- | | |
|--------------------|-----|
| 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 | : 無 |
| 以外の会計方針の変更 | : 無 |
| 会計上の見積りの変更 | : 無 |
| 修正再表示 | : 無 |

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2022年3月期1Q	15,595,050 株	2021年3月期	15,595,050 株
期末自己株式数	2022年3月期1Q	1,055,223 株	2021年3月期	1,055,223 株
期中平均株式数(四半期累計)	2022年3月期1Q	14,539,827 株	2021年3月期1Q	14,539,827 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(追加情報)	8
(セグメント情報)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症の収束が未だ見通せない中、生産活動や設備投資に持ち直しの動きが見られたものの、感染再拡大に伴う緊急事態宣言の再発出により社会活動が制限されるなど、厳しい状況が続いております。先行きについては、国内外でワクチン接種が進み、本格的な経済活動の再開が期待される一方、感染拡大による下振れリスクの高まりには十分注意する必要があります、依然として不透明な状況にあります。

当社グループが関連する業界におきましては、移動制限や各種イベントの中止・縮小など、営業活動の制限を余儀なくされ、また市場の伸び悩みや激しい価格競争が続いており、厳しい経営環境となっております。

こうした状況のもと当社グループは、お客様、お取引先はもとより、社員及びその家族をはじめとする全てのステークホルダーの皆様の安全と健康を最優先に、新型コロナウイルス感染防止策を講じ、テレワークやオンライン会議の積極的な活用、対面からオンラインによる営業活動の推進など、継続して「新しい働き方」の定着に取り組んでまいりました。

また、中期経営計画の最終年度となる2021年度は、この計画に掲げた方針に基づき、諸施策を着実に遂行することを基本としつつ、外部環境の変化を前提とした強固な経営基盤の再構築を試みながら、「美・食・住」を軸とした次の成長ステージへ向けて、モノづくりとサービスの融合による顧客価値の追求と、需要の変化を見極めた新商品の開発及びサービスのデザイン並びに新たな事業の創出にグループ一丸となって取り組んでおります。

この結果、当第1四半期連結累計期間の売上高は55億1千3百万円（前年同期比6.1%増）、営業利益は3億2千5百万円（前年同期比5.0%増）、経常利益は3億5千2百万円（前年同期比7.3%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は2億3百万円（前年同期比33.4%増）となりました。

セグメント別の業績は、次のとおりであります。

(モビリティ&サービス事業)

主力の門型洗車機は、新型コロナウイルス感染症の影響が続く中、SS（サービス・ステーション）向けでは、旺盛な設備投資意欲に支えられ堅調に推移し、カーディーラー向け洗車機は、前期末の受注残が売上げに寄与し伸長しました。オイル機器は、主にエアコンプレッシャーの需要が回復し、前年実績を上回りました。情報機器では、小売店舗向け小型表示機は、新型コロナウイルスの影響が続く中、前年並みに推移しました。また、工事用保安機器、SS価格看板は、電子部品の入手難により生産の一部で遅延が生じ、売上計上が第2四半期にずれ込むこととなりました。

その結果、売上高は前年同期比8.0%増の40億1千2百万円となりました。

(ライフ&サポート事業)

主力製品の農家向け低温貯蔵庫は、新型コロナウイルスの影響による展示会中止があったものの、堅調に推移しました。また、一般家庭向けの電気圧力鍋及び保冷米びつは、昨年顕著だった巣ごもり需要に一服感が見られ低調に推移しましたが、音響関連は集音器など新商品の投入により堅調に推移しました。食品加工機械は、感染拡大の影響で営業活動が制限され厳しい状況にある中、当領域での事業成長に向けて関係会社の製造機能を一部エムケー精工へ移管し、最適化することにより生産能力の強化を図っております。

その結果、売上高は前年同期比2.0%減の11億8千4百万円となりました。

(住設機器事業)

住設機器としては、主に木・アルミ複合断熱建具、反射板式消音装置、鋼製防火扉等を製造・販売しております。コロナ禍に起因する木材価格の高騰や供給不足（いわゆる「ウッドショック」）は業界全体を震撼させています。木・アルミ複合断熱建具は、政府のカーボンニュートラル宣言によるCO₂排出削減の方針を受けて、木材利用の機運が高まる中、新型コロナウイルスの影響はあったものの、前年度に積みあがった受注残が売上げに寄与し、前年実績を上回りました。

その結果、売上高は前年同期比18.2%増の2億7千8百万円となりました。

(その他の事業)

保険代理業、不動産管理・賃貸業及び長野リンドンプラザホテルの運営に係るホテル業が主体となります。ホテル業は、新型コロナウイルス感染症に対する感染防止策を徹底し、営業を継続してまいりました。一部地域において緊急事態宣言やまん延防止等重点措置の適用が継続されたため、その影響を受けて観光客やビジネス客が回復せず、厳しい経営環境が続いておりますが、売上高は前年同期比8.8%増の3千9百万円となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第1四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末に比べ6億2千1百万円増加し257億3千4百万円となりました。流動資産は6億5千9百万円増の148億9千4百万円、固定資産は3千8百万円減の108億4千万円となりました。これは主に事業の閑繁等の季節的要因に伴いたな卸資産が13億2千5百万円増加したことによるものであります。

(負債)

当第1四半期連結会計期間末における負債の合計は、前連結会計年度末に比べ4億3千5百万円増加し135億9千8百万円となりました。流動負債は7千万円減の101億7千1百万円、固定負債は5億5百万円増の34億2千6百万円となりました。これは主に買掛金が5億1千5百万円増加したこと、短期借入金が3億4千万円減少したこと、未払法人税等が4億4千7百万円減少したこと、長期借入金が4億3千2百万円増加したことによるものであります。

(純資産)

当第1四半期連結会計期間末における純資産の合計は、前連結会計年度末に比べ1億8千5百万円増加し、121億3千6百万円となりました。これは主に利益剰余金が8千7百万円増加したこと、為替換算調整勘定が1億2千2百万円増加したことによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2021年4月28日発表の「2021年3月期決算短信」で公表しました2022年3月期第2四半期(累計)連結業績予想を修正いたしました。詳細につきましては、本日(2021年7月29日)公表しました「業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2021年3月20日)	当第1四半期連結会計期間 (2021年6月20日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	3,474,349	3,479,410
受取手形及び売掛金	5,515,664	4,850,234
商品及び製品	1,860,639	2,481,339
仕掛品	1,305,778	1,545,958
原材料及び貯蔵品	1,778,099	2,242,875
その他	315,599	307,452
貸倒引当金	△15,319	△13,199
流動資産合計	14,234,811	14,894,072
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	1,737,838	1,803,883
機械装置及び運搬具(純額)	352,025	357,022
土地	3,523,229	3,523,229
その他(純額)	714,574	644,509
有形固定資産合計	6,327,668	6,328,644
無形固定資産		
のれん	877,572	822,373
その他	989,075	972,658
無形固定資産合計	1,866,648	1,795,031
投資その他の資産	2,684,221	2,716,693
固定資産合計	10,878,538	10,840,369
資産合計	25,113,350	25,734,441

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2021年3月20日)	当第1四半期連結会計期間 (2021年6月20日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,083,477	1,620,684
短期借入金	3,120,000	2,780,000
1年内返済予定の長期借入金	679,613	826,589
未払金	3,742,477	3,910,686
未払法人税等	523,907	76,445
引当金	653,990	409,591
その他	439,077	547,814
流動負債合計	10,242,542	10,171,811
固定負債		
長期借入金	1,993,911	2,426,541
退職給付に係る負債	175,898	182,447
その他	750,646	817,413
固定負債合計	2,920,455	3,426,401
負債合計	13,162,998	13,598,212
純資産の部		
株主資本		
資本金	3,373,552	3,373,552
資本剰余金	2,947,095	2,947,095
利益剰余金	5,749,370	5,836,847
自己株式	△492,406	△492,406
株主資本合計	11,577,611	11,665,088
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	399,493	382,451
繰延ヘッジ損益	2,119	—
為替換算調整勘定	△89,543	33,430
退職給付に係る調整累計額	60,670	55,258
その他の包括利益累計額合計	372,739	471,140
純資産合計	11,950,351	12,136,228
負債純資産合計	25,113,350	25,734,441

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2020年3月21日 至 2020年6月20日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2021年3月21日 至 2021年6月20日)
売上高	5,194,257	5,513,476
売上原価	3,336,887	3,547,519
売上総利益	1,857,369	1,965,957
販売費及び一般管理費	1,546,917	1,640,080
営業利益	310,451	325,877
営業外収益		
受取配当金	5,725	8,319
その他	34,528	35,653
営業外収益合計	40,253	43,973
営業外費用		
支払利息	14,274	10,835
その他	7,538	6,268
営業外費用合計	21,813	17,103
経常利益	328,892	352,747
特別利益		
固定資産売却益	—	181
特別利益合計	—	181
特別損失		
固定資産除売却損	85	0
投資有価証券評価損	6,329	459
貸倒引当金繰入額	18,040	—
特別損失合計	24,454	459
税金等調整前四半期純利益	304,437	352,469
法人税、住民税及び事業税	94,334	73,357
法人税等調整額	57,306	75,316
法人税等合計	151,640	148,674
四半期純利益	152,796	203,795
親会社株主に帰属する四半期純利益	152,796	203,795

(四半期連結包括利益計算書)
(第1四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2020年3月21日 至 2020年6月20日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2021年3月21日 至 2021年6月20日)
四半期純利益	152,796	203,795
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	156,804	△17,041
繰延ヘッジ損益	△2,625	△2,119
為替換算調整勘定	△11,446	122,973
退職給付に係る調整額	907	△5,411
その他の包括利益合計	143,640	98,400
四半期包括利益	296,436	302,196
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	296,436	302,196

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(追加情報)

(新型コロナウイルス感染症の影響に関する会計上の見積り)

前連結会計年度の有価証券報告書の(追加情報)(新型コロナウイルス感染症の影響に関する会計上の見積り)に記載した新型コロナウイルス感染症の影響に関する仮定について重要な変更はありません。

しかしながら、新型コロナウイルス感染症拡大に伴う影響は、不確定要素が多く、今後の財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況に影響を及ぼす可能性があります。

(セグメント情報)

I 前第1四半期連結累計期間(自 2020年3月21日 至 2020年6月20日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント					調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	モビリティ& サービス事業	ライフ& サポート事業	住設機器事業	その他の事業	計		
売上高							
外部顧客への売上高	3,715,255	1,207,953	235,196	35,851	5,194,257	—	5,194,257
セグメント間の内部 売上高又は振替高	739	141,224	69	37,583	179,616	△179,616	—
計	3,715,994	1,349,177	235,266	73,434	5,373,873	△179,616	5,194,257
セグメント利益又は損失 (△)	653,400	21,796	△57,855	970	618,312	△307,860	310,451

(注)1. セグメント利益又は損失(△)の調整額△307,860千円には、セグメント間取引消去6,579千円、各報告セグメントに配分していない全社費用△314,440千円が含まれています。全社費用は、主に報告セグメントに帰属していない四半期連結財務諸表提出会社の費用です。

2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第1四半期連結累計期間(自 2021年3月21日 至 2021年6月20日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント					調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	モビリティ& サービス事業	ライフ& サポート事業	住設機器事業	その他の事業	計		
売上高							
外部顧客への売上高	4,012,107	1,184,242	278,105	39,020	5,513,476	—	5,513,476
セグメント間の内部 売上高又は振替高	385	134,137	293	39,693	174,509	△174,509	—
計	4,012,492	1,318,380	278,398	78,714	5,687,985	△174,509	5,513,476
セグメント利益又は損失 (△)	678,771	33,927	△74,177	18,612	657,133	△331,255	325,877

(注)1. セグメント利益又は損失(△)の調整額△331,255千円には、セグメント間取引消去6,595千円、各報告セグメントに配分していない全社費用△337,851千円が含まれています。全社費用は、主に報告セグメントに帰属していない四半期連結財務諸表提出会社の費用です。

2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。